



林間学校

5年生は、国立立山青少年自然の家で1泊2日の林間学校を行いました。

1日目は、ポイント探しや森の遊び場づくり、キャンプファイヤーを行いました。ポイント探しでは、木に縛り付けてある紅白の巣箱型のポイントを探しました。森の遊び場づくりでは、丸太や竹を使ってブランコやシーソー等を作りました。どちらの活動でも、グループの仲間と知恵を絞りながら、工夫して取り組む姿が見られました。

2日目は、部屋の片付けを済ませてから、うどん作りに挑戦しました。うどんを粉から作るのは初めてという子供たちが多く、生地をこねたり、延ばしたり、切ったり、茹でたりする作業を楽しんでいました。自分たちで作ったうどんの味は格別だったようです。

宿泊学習を通して、自然の中で思い切り活動することのすばらしさ、仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。



なかよし合宿

3年生は、富山県呉羽青少年自然の家で1泊2日のなかよし合宿を行いました。雨からスタートした宿泊学習でしたが、次第に天候が回復し、予定していた活動をほぼ行うことができました。

1日目は、クラフト活動の後、三楽池やその周りで、ターザンロープ、いかだ遊び、池ジャングル、竹ジャングル、竹ブランコで遊びました。時間いっぱいまで思い切り遊ぶ様子が見られました。

2日目の朝は、同じ部屋の仲間と協力しながら、シーツや布団たたみしました。自分たちが使った部屋を、次に使う人が気持ちよく使うことができるよう、掃除も頑張りました。森の動物クイズでは、地図を見て、どのポイントから回るかを班の仲間と相談しながら野山を駆け巡り、呉羽丘陵に住む動物に関するクイズに挑戦しました。

なかよし合宿という名前のお通り、協力して活動し、寝食を共にすることで、同じ学年の仲間との仲をこれまで以上に深めることができました。



ネットトラブルから自分を守る安全教室

富山県警察少年サポートセンターから講師をお招きして、中・高学年を対象とした「ネットトラブルから自分を守る安全教室」を行いました。

子供たちは、トラブルの事例を動画で見た後、何がよくなかったのか、どのようなことに気を付けるべきだったのかについて話し合いました。その後、警察の方から、最近、起きているネットトラブルの具体例や、それらの対処法を教えてくださいました。以下は、中学年の子供たちが学んだ内容です。



- ・ SNS上のやり取りは、短い文章や言葉が多いため、誤解が起きやすい。例えば、『いいよ』という言葉で「了解した」と受け止める場合もあれば、「否定された」と受け止める場合もある。また、「すぐに返事をしなくてはいけない」という意識が働き、やり取りが早くなるため、誤解を与えたまま、やり取りが続いてしまうことがある。
- ・ SNSは匿名で書き込むことができるため、誹謗中傷が多く見られる。何気なく書き込んだ内容でも記録に残る。また、相手を傷つけた場合は、悪ふざけや冗談では済まされなくなる。中には、名誉毀損や侮辱罪に問われる場合もある。悪口だけでなく、相手の個人情報を載せることも、罪に問われる。
- ・ 子供の裸の写真を撮ることも、持つことも、売ることも、SNSに投稿することも、全て児童ポルノに当たり、犯罪である。
- ・ 知らない人から個人情報や写真を求められても、応じてはいけない。知っている人であっても、応じてはいけない。「相手が知り合いや同世代だと思っていたら別人だった」というケースも多い。写真を投稿すると、顔や名前が写っていないくても、位置情報等から個人情報を特定される場合がある。
- ・ PCの画面に『ウイルスに感染した』と表示して不安を煽り、連絡先を入手しようとする「サポート詐欺」が頻発している。このような場合は、相手の指示に従わず、右上の「×」を押して画面を消すとよい。
- ・ オンラインゲームの課金トラブルが発生している。始めはお金がかからないが、いつの間にかお金がかかる仕組みになっているものもある。
- ・ 困ったことが起きた場合は、自分だけで対処しようとせず、すぐに家族や近くの大人に相談したらよい。

警察の方の話聞き、子供たちの周りには、様々なネットトラブルが発生しているという事を改めて感じました。特に、SNSでのやり取りは、いつでもどこでもできる手軽さがある反面、直接話す場合と違って相手の表情や声のトーンが伝わらないため、誤解が生まれやすくなります。互いに嫌な思いをしないよう、メッセージを送る前には、「誤解を与える内容になっていないか」と十分に確認したいものです。

5月に、安全なインターネットの使い方等を保護者と子供が話し合って約束をつくる「わが家のインターネットルール」を決めていただきました。夏休みは自由になる時間が多い分、インターネットに関わる時間も長くなる傾向にあります。夏休み前のこの時期に、今一度、お子さんとルールを確認してみたいかがでしょうか。 (副校長 村井悠子)